



友 情



発行日 令和5年3月5日 編集責任者 長浜市スポーツ少年団
 発行 長浜市スポーツ少年団 保護者連絡協議会

長浜市スポーツ少年団関係者の皆様、保護者の皆さまには、日頃からスポーツを通して青少年の健全育成に多大なるご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

また、いまだに続く新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活様式は大きく変化し、日ごろの活動の中でも



「友情」発刊によせて

長浜市教育委員会
 教育長 織田 恭淳

ご苦労が多いことと存じます。そのような中で、子どもたちが心身ともにたくましく成長するため、スポーツ少年団関係者の皆さまの熱心なご指導と、保護者の皆さまの厚いご支援をいただいておりますことに、心から敬意を表します。

さて、本市では、令和7年に滋賀県で開催されます「国民

スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会」をスポーツ振興の絶好の機会としてとらえ、スポーツに対する関心を高め、子どもたちに夢や希望を与えられるよう、様々な事業に取り組んでいるところです。

本市の子どもたちがこの機会に、スポーツへのさらなる関心や意欲を高めるとともに、スポーツ少年団活動を通して、ルールや規律を学び、仲間との友情を深め、周りの人たちへの感謝の気持ちを大切に、自分たちの夢に向かってたくましく育ってくださることを心より祈念申し上げます。

長浜市スポーツ少年団フェアプレイ宣言

「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」

誰もができて、誰もが気持ち良くなる行動。
 そして、スポーツをしている時も、していない時でもできる行動。
 「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」を広げていきます。
 「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」が当然のように行われている町が増えれば、きっと日本はもっと元気になるはず。

フェアプレイで
 日本を元気に

あくしゅ、あいさつ、ありがとう

各地区並び単位団の指導者、保護者の皆様方には、本市スポーツ少年団の育成諸事業に対し、格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、依然としてコロナ禍が収束しない中で本市事業の規模縮小、交流事業の中止等がありました。しかしながら全体的には各種大会、活動の制限をすることなく関係各位にウイズコロナでの活動のあり方を模索し、最大限の感染予防対策を講じて各種大会練習に取り組んで頂き子どもたちにとって楽しい活動ができたと思われま



スポーツは楽しいもの！ 見るよりやってみよう！

長浜市スポーツ少年団
 本部長 八田 忠士

す。スポ少では指導者保護者研修大会等も行い、勝利至上主義に偏らない指導で、子どもたち保護者の皆様方に負担のかからない子ども目線の運営、組織作りを目指して研鑽しております。スポーツ少年団の活動理念であるスポーツによる青少年の健全育成の原点にたち、単位団の活動、運営が保護者と学校と地域の皆様の理解が得られるように、スポーツ少年団活動と学校行事、地域行事の調整をして頂くように指導しております。

また、スポーツ少年団に入っている子どもも入っていない

子どもの運動能力の差は歴然です。競技スポーツの結果を求めがちですが、少年期の指導で大事なことは、目標に向かって自己研鑽する過程が重要で、子どもたちはスポーツをすることによってルールを学び、仲間を信じることで友情を深め、忍耐力、コミュニケーション能力をつけて、生涯スポーツの礎になっていると思います。

すでに入団している子どもたちには自分の目標をしっかりと掲げて、さらなる活躍を願います。また入団されておらず運動してみたいとお思いの子どもたちには、本市にはたくさん単位団がありますので、自分に合った団を見つけて頂き、一人でも多くの子どもたちが本市スポーツ少年団に入団していただけることを心より祈念いたします。

コロナ禍でのスポーツ少年団活動

コロナ禍での活動

浅井西スポーツ少年団 女子バスケット
 指導者 梅本 和典

三年前、突然コロナが世間に猛威をふるい少年団活動も今までに経験した事のない長期の活動自粛を強いられました。

活動再開になってもマスク着用や対外試合の禁止等子ども達には辛い日々が続きました。しかし、自粛でも自主練をし、試合や行事が出来なくても腐ることなく黙々と練習をして来ました。ようやく行事等も感染対策をしながら徐々に出来る様になってきたので以前のように活動出来る日が近づいてきたかな？とありがたく思います。



コロナ禍で思う事は「子ども達はどんな環境になっても常に一生懸命である」と言うことです。その気持ちをいつまでも大切にしていきたいと思う日々です。

子どもと保護者を 夢中にしたい！

湖北地区スポーツ少年団 バレーボール
 指導者 丸岡 正弘

コロナ禍でスポ少活動もこの3年で様々な事が変わりました。体調管理、細かな手指消毒、換気、マスクの着用、そして使用施設の消毒など、新型コロナウイルス感染症対策が当たり前になりました。何より人が集まる事が駄目だとされ、新しい団員の呼び掛けや、体験活動が出来なくなりました。それにより、子ども、保護者のスポ少離れも重なって多くの団が団員不足で、大会の参加チーム数が激減しています。人数の多かった私の団も例外ではありません。

少しでもスポーツに興味を持ってもらうように、楽しさはもちろん、スポーツを通して子ども・保護者が夢中になれるような活動・指導を目指し、子どもたちが、思いやりや感謝の気持ちを持ち、自分の事だけでなく周りの子たちと一緒に成長していけるようにしていきたいと思っています。



令和4年度滋賀県スポーツ少年団奨励賞受賞者

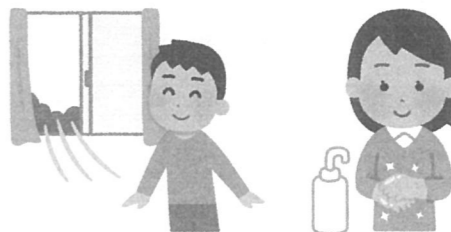
浅井西スポーツ少年団 梅本 和典 様
 湖北地区スポーツ少年団 丸岡 正弘 様



コロナに負けるな！

長浜市スポーツ少年団は、各団、下記のことを守って活動しています。

- ・感染予防対策を徹底した活動
 健康観察、手洗い、手指の消毒、うがいの実施、部屋の換気、マスク、社会的距離等
- ・団員、保護者の意思を尊重した活動



ACP (アクティブ・チャイルド・プログラム)

子どもたちが楽しみながら積極的にからだを動かせる。それがアクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)です。日本スポーツ協会が、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムとして、アクティブ・チャイルド・プログラムを開発しました。JSPQ日本スポーツ協会のサイトへアクセスしていただくとACPのいろんな「運動あそび」があります。ご自宅でもできるあそびもありますので、是非ご活用ください。



出典：公益財団法人日本スポーツ協会 HP
 「JSPQ-ACP 総合サイト」
 URL (https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/acp/index.html)

